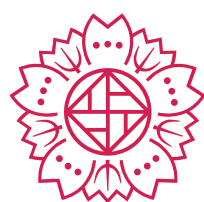


2026 年度



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

入学者募集要項

総合型選抜

目次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	3
募集要項	
1. 募集学部・学科及び募集人員	10
2. 出願資格	11
3. 各学科の指定する出願条件	12
4. スケジュール	14
5. 出願方法	14
6. Web出願登録内容の確認・変更	21
7. 出願に関する注意点	22
8. 第一次選考（書類審査）合否発表日	22
9. 第二次選考受験票について	22
10. 試験日・試験場・時間割・試験科目	23
11. 合格発表	24
12. 入学手続	24
13. 成績開示	25
14. 学費等	26
15. 奨学金	28
・桜楓樹給付奨学金	
・日本女子大学被服学科賞（被服学科入学者対象奨学金）	
16. 学寮	34
17. 入学後の単位の認定について	35
校舎配置図	36
交通案内図	37

●トランスジェンダー学生（女性）と共に

日本女子大学では2024年4月入学よりトランスジェンダー学生(女性)*の方に
出願資格を拡大して共に学ぶことを決定しました。

*出生時に割り当てられた性別が女性以外で、性自認が女性である人

詳細については本学公式ホームページをご覧ください。

https://www.jwu.ac.jp/unv/seg_student/life_support/accepting_transgenderstudents.html



●個人情報保護について

出願及び入学手続の際に記載された氏名、住所等の個人情報は、入学試験実施、合格発表、入学手続、学籍準備、入試統計・調査及びこれらに関連する業務に利用します。個人情報を前述の目的以外に利用したり、本人の同意を得ないで第三者に提供したりすることはありません。

出願者は出願書類を提出することにより、個人情報の取扱いに同意いただいたものとします。

●学科名称変更について

2026年4月より、以下のとおり学科の名称を変更いたします。

(2025年度まで) 日本文学科 → (2026年度より) 日本語日本文学科
史学科 → 歴史文化学科

お問い合わせ

UCAROの操作につきましては、お問い合わせ前にUCAROホームページ内のFAQをご覧ください。

<https://user-support.ucaro.net/hc/ja>

UCAROの操作方法・Web出願 サイトの操作方法・検定料支払 方法に関する問い合わせ	UCARO・インターネット（Web）出願ヘルプデスク 【対応時間】 10：00 ～ 18：00（12/30～1/3除く）	03-6634-6494
出願に関すること、その他入試 に関する問い合わせ	日本女子大学 入試課 【対応時間】 月～金 9：00～17：00 土 9：00～12：00 （日本女子大学入試課の開室日時に準じます。） 詳細は日本女子大学ホームページでご確認ください。	03-5981-3786 n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp

総合型選抜出願者・合格者対象の奨学金について

■桜楓樹給付奨学金

桜楓樹給付奨学金は本学関係者からの寄付金から給付されるもので、地方からの進学者の経済的負担を軽減することを目的とし経済的支援を必要とする優秀な者に対し、入学金・学費・入寮に係る費用（入寮する方のみ）等として原則4年間の給付を入学前に約束するものです。選考方法は総合型選抜において通常の選抜に加え、別途書類審査・面接により本奨学金の採用候補者を選考します。詳細については、p.28 以降をご確認ください。

■日本女子大学被服学科賞（被服学科入学者対象奨学金）

日本女子大学被服学科賞（被服学科入学者対象奨学金）は、被服学科の教員及び関係者の寄付金から給付されるもので、日本女子大学被服学科の勉学を奨励することを目的とし、総合型選抜において優秀な成績で入学した被服学科の学生に対し、入学金相当額（20万円）を入学後に給付するものです。詳細については、p.33 をご確認ください。

入学者受入方針(アドミSSION・ポリシー)

日本女子大学アドミSSION・ポリシー

日本女子大学は、多様で大きく変化し続ける社会の中で、様々な立場の人の幸福と平和を実現する明日を共創するために、一人ひとりが自らの役割を見出し、探究心と信念を持って生涯にわたって学び実践し続けることが大切であると考えている。本学は、そのような人間の成長を本学の教育の理念（三綱領）に基づき支援する教育・研究活動を行う。この教育方針のもと、基礎的な力および幅広い教養を身につける全学共通の基盤的な教育プログラムと各専門分野における学位プログラムを通して、教育目標の達成を目指す。

日本女子大学は、各学科のアドミSSION・ポリシーに示す基礎的な知識・表現力・思考力を身につけており、他者を尊重し、互いにコミュニケーションを取りながら主体的にものごとに取り組む意欲のある学生を求める。

■児童学科

児童学科は、「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の3領域からなる児童学を学ぶ学科である。専門の学びを通じて、18歳未満の子どもを生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・児童学を学びたいという意欲のある人
- ・「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の3領域に幅広い興味を持つ人
- ・子どもや子どもを取り巻く課題を多角的に理解し、解決しようとする人
- ・子どもと共に文化を継承し、創造しようとする人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・論理的に物事を考える基礎的な知識と思考力
- ・自分の考えをまとめ他者に正しく伝えることができる基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションをとり、協働して課題解決する力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および学科別課題の小論文を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。特に、児童学科では、情報や条件から論理的に結論を導くことができる能力、得意なことやユニークなことを学修に生かせる応用力など、文系理系を問わずに幅広い能力を持つ学生を求めている。第二次選考の小論文では、子どもや子どもの環境から課題を見つけ、その課題の問題を解決したり、新たな発見をしたりする主体的探求心をもつ意欲と、論理的な思考力、判断力、表現力を見る。さらに、口述試験ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■被服学科

被服学科は、生活環境が著しく変化する現代において、時代に即した被服のあり方とは何かを科学的・文化的視点から総合的に追究する学科である。より良い人間生活の向上に役立つ被服を創造することで、繊維・ファッション業界などの多彩な分野で活躍し、社会に貢献できる人材の育成を目指している。

【求める学生像】

- ・被服に関連する事象を総合的に理解しようとする人
- ・被服を多角的視点から深く学び、人間生活に役に立つ知識を獲得し、自ら考え、社会へ提案する意欲のある人
- ・何事にも一生懸命に取り組む姿勢があり、向上心を持つ人
- ・幅広い知識を身につけ、衣生活をより快適に豊かにしたいという意欲のある人
- ・自分の考えを文章や言葉で表現でき、コミュニケーションを図ることのできる人
- ・被服分野の専門家として社会貢献したい人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高等学校までに学んだ諸科目（英語、国語、数学、理科、地理歴史 等）の基礎学力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

第一次選考とその合格者を対象に第二次選考を実施する。第一次選考では、調査書と全学科共通課題により高等学校等での学修状況と高校までに身につけるべき基本的知識と技能の修得状況、論理的思考力と表現力を総合的に判定する。第二次選考では、筆記試験と口述試験を通して、被服に関連した基礎的な知識の修得状況と学修に対する意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

■家政経済学科

家政経済学科は、生活の様々な現状を経済学、家政学、経営学、政治学などの社会科学の手法を使って幅広く学ぶ学科である。専門の学びを通じて、複雑化する様々な社会的課題や経済的課題の解決方法を探り、学んだ知識を行動に生かし、持続可能な社会の構築に貢献できる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・生活をめぐる様々な社会的課題や経済的課題に興味・関心を持つ人
- ・経済学、家政学、経営学、政治学などの社会科学の領域に関心を持ち、幅広く学びながら自分の学びの中心となる学問領域を見つけていこうとする探求心のある人
- ・幅広い視野を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ人
- ・社会科学的な知識や考え方を身につけ、多様な立場の人々の幸せや持続可能な社会の構築に貢献したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・国語や数学、地理歴史、公民に関する一定の基礎学力
- ・英語を読み取り理解する基礎力
- ・物事を論理的に把握し分析する基礎的な読解力および論理的思考力
- ・自分の意見を適切な表現で他者に伝える基礎的な表現力
- ・他者の意見に耳を傾け、目的達成のために協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および自己推薦書を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて生活問題や経済問題に関する資料を理解し、それと関連づけながら自らの意見を発信する能力があるかどうかを見る。さらに、プレゼンテーション・質疑応答ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■日本語日本文学科

日本語日本文学科は、日本文学ならびに日本語学と、これらの関連分野（中国文学・思想、日本語教育学、図書館情報学）を学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力を養い、専門知識と思考力を活かして社会で活躍できる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・日本文学や日本語学に強い関心を持ち、深く学びたいという意欲のある人
- ・日本文学や日本語学を軸としつつ、上記の関連分野である中国文学・思想、日本語教育学、図書館情報学にも関心を持ち、学ぶ意欲のある人
- ・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・人間とは何であるかを言語・文学・文化・歴史を通して学ぶ意欲のある人
- ・文学や文化的・歴史的遺産を通して自分の生き方を考え、自己実現を達成する意欲のある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・国語と英語（外国語）の適切な運用能力
- ・歴史、もしくは数学における十分な知識
- ・テーマにそって資料を調べ、考察し、自分の言葉で表現する基礎的な能力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および学科別課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では筆記試験で古典文学の基礎的な知識の修得を判定し、口述試験にてコミュニケーション力や他者と議論する力などを合わせて総合的に審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■英文学科

英文学科は、英語ならびに英米の文化圏（イギリス文学、イギリス文化、アメリカ文学、アメリカ文化、言語、英語教育）について学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力を養い、英語力、専門知識、思考力を活かして社会で活躍できる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・英語や英米圏の文化に強い関心を持ち、深く学びたいという意欲のある人
- ・異文化への関心を持ち、国際的視野に立って社会に貢献したいと考える人
- ・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・人間とは何であるかを言語・文学・文化・歴史を通して学ぶ意欲のある人
- ・文学や文化的・歴史的遺産を通して自分の生き方を考え、自己実現を達成する意欲のある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・国語と英語の適切な運用能力
- ・日本史もしくは世界史における十分な知識と基礎学力
- ・テーマにそって資料を調べ、考察し、自分の言葉で表現する基礎的な能力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、筆記試験と口述試験を通して、論理的な思考力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■歴史文化学科

歴史文化学科は、歴史学と、それに関連する分野（地理学・宗教学・博物館学）を学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力を養い、専門知識と思考力を活かして社会で活躍できる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・歴史や歴史的資料（史料）へ強い関心を持ち、深く学びたいという意欲のある人
- ・歴史的背景を踏まえて異文化や国際問題を理解する意欲のある人
- ・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・人間とは何であるかを言語・文学・文化・歴史を通して学ぶ意欲のある人
- ・文学や文化的・歴史的遺産を通して自分の生き方を考え、自己実現を達成する意欲のある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・国語と英語の適切な運用能力
- ・日本史もしくは世界史における十分な知識
- ・テーマにそって資料を調べ、考察し、自分の言葉で表現する基礎的な能力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および学科別課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考の口述試験にてコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■現代社会学科

現代社会学科は、社会学、経済学、文化人類学、歴史学などの社会諸科学の理論と方法を学修することを通して、現代社会を多角的に見つめ考える学科である。広い領域に至る社会問題や社会現象を総合的な視点から捉え、的確なデータに基づいて考察できる人間の育成を目的としている。

【求める学生像】

- ・現代社会における諸問題に関心を持ち、その解決に向けて多角的に考えている人
- ・身近な出来事と社会全体の動向との関わり方の探究に意欲を持っている人
- ・日本および世界の社会や歴史に関心を持ち、それを多角的、総合的に理解・把握したいと考えている人。

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・国語、地理歴史、公民に関する一定の知識と理解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・日本語と外国語を読み取り、その内容を理解し表現する力。
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、小論文試験および口述試験にて現代社会における諸問題に関心を持ち、その解決に向けて多角的に考えているか、身近な出来事と社会全体の動向との関わり方の探究に意欲を持っているかを審査し、またコミュニケーション力や他者と議論する力なども審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■社会福祉学科

社会福祉学科は、現実社会のあらゆる生活上の諸問題を解明し、より良い社会のあり方を考え、それを築くための実践的な方法を学ぶ学科である。専門の学びで身につけたコミュニケーション力・分析力・判断力を通じて、より良い社会の担い手として実践的に活躍できる人物の育成を目指している。

【求める学生像】

- ・社会問題に関心があり、その解決のための実践的な方法を深く学びたいという意欲がある人

- ・他者と関わりをもつことに興味があり、共感的態度で他者を理解する重要性を認識している人
- ・生活上の諸問題をかかえる人々への社会的支援のあり方に関心がある人
- ・知的好奇心と探求心をもち、主体的に学修や研究に取り組む意欲がある人
- ・多様な価値観や自分とは異なる感性を柔軟に受け入れられる人として、社会で活躍したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・社会科（公共、地理歴史等）や国語の十分な基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高等学校までに修得すべき学力、探求心、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、小論文により現実社会の諸問題に関する基礎的な理解、論理的な思考力、判断力、文章表現力を見る。さらに、口述試験では相手の言葉を受け止め理解したうえで、自らの考えをまとめ明晰な言語で正しく伝える能力などを審査する。以上を通して総合的に判定する。

■教育学科

教育学科は、生涯にわたる人間の成長を教育学の幅広い基礎知識と深い専門知識に基づいて理解し、教育に関わる実践と諸問題の解決方法を複眼的な視点から探究する学科である。そのうえで、教育コミュニケーションという側面から、多様な他者と協働し教育を核とした既存社会の変革と持続可能な社会の創造を主体的に推進できる人を育てていくことを目指している。

【求める学生像】

- ・教育に関わる幅広い学問領域に興味がある人
- ・学校教育の意義や教師の役割に関心がある人
- ・教育的事象や社会の諸問題に興味がある人
- ・教育の望ましいあり方を探究しようとする人
- ・学びを支援することに関心がある人
- ・他者と協働して社会をよりよく発展させていく意欲がある人
- ・自らの成長のために学び続けたいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・全教科にわたる基礎的な学力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて資料を読み取る力、論理的に考える力、自分の意見を文章で表現する力を判定する。さらに、口述試験では教育学科を志望した理由、興味のある社会的事象、在学中の学業以外での活躍、社会に貢献したいと思っていることなどについて審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■心理学科

心理学科では、心の働きの普遍性について客観的・科学的な理解を深めていく姿勢と、一人ひとりの生き方の個性を尊重する協働的な姿勢を兼ね備え、変わりゆく社会の中でのあり方をたえず探求し続ける人間の育成を目的とする。

【求める学生像】

- ・人間の心の働きの仕組みや成り立ちを、科学的に理解することに興味のある人。
- ・調査や実験などの科学的な研究法を身につけ、心の働きを主体的に探求したい人。
- ・生物学的、社会・文化的な視点から、人間の心の働きを学問融合的に捉えていくことに関心のある人。
- ・自分とは異なる考えも傾聴し、より広く深い人間理解を求める人。
- ・実証的なデータや文献を読み解き、自身の考察を論理的に表現する意欲のある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高等学校段階までの十分な基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次

選考では、口述試験にてコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■数物情報科学科

数物情報科学科は、数学、物理学、情報科学、およびそれらの複合領域を学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力と表現力を養い、専門知識と科学的な思考力を活かして社会で活躍する人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・数学、物理学、情報科学またはそれらの複合領域を深く学びたいという意欲のある人
- ・数学、物理学、情報科学を軸としつつ、理系の様々な学問領域に幅広い興味を持つ人
- ・数学、物理学、情報科学に関する「実験」、「実習」、「演習」などの実践的な学修と研究を面白いと感じ、その重要性を認識している人
- ・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・科学的な知識・技術や考察力を身につけ、社会で活躍したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・数学、理科、情報の十分な基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて基礎的な知識の修得を判定し、小論文にて論理的な表現力を見る。さらに、口述試験では数学または物理または情報の基礎的な学力、他者に伝える力、主体性などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■化学生命科学科

化学生命科学科は、化学と生物学、また、両者の複合領域を学ぶ学科である。専門の学びを通じて論理的な考察力を養い、専門知識と科学的考え方を活かして社会で活躍できる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・化学か生物学または両者の複合領域を深く学びたいという意欲のある人
- ・化学や生物学を軸としつつ、理系の様々な学問領域に幅広い興味を持つ人
- ・化学や生物学に関する「実験」を面白いと感じ、その重要性を認識している人
- ・知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・科学的な知識・技術や考察力を身につけ、社会で活躍したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高等学校段階までの理科、数学、英語および国語の十分な基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて理科と数学の基礎的な知識の修得を判定し、小論文にて論理的な思考力、判断力、表現力を見る。さらに、面接試験ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■国際文化学科

国際文化学科は、「地域文化」と「芸術文化」を全て包括するものとしての「国際文化」を学ぶ学科である。世界の様々な地域や研究領域に存在する問題を自らつかみとり、それを国際的視野や学術的知見に基づいて理解・把握し、他者と協力しながら解決を模索することを通して、新たな文化や社会の構築に主体的にかかわることができる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・国内外に存在し、複雑に絡み合う諸文化を、多様な言語を修得したうえで、複眼的・論理的・国際的な観点から理解することによって、既成の単一的な文化領域を超え「越境」する視座を身に付けたい人。【知識・技能】
- ・実践的な取り組みの成果を言語化し、ICT も用いて発信するために必要な論理的思考力やスキル、コミュニケーション能力を身に付けたい人。【思考力・判断力・表現力等】
- ・教室外での実践・体験プログラムを通して得た実践的な知と専門的な知識とを結びつけ、社会のフィールドにおける文化的課題に、他者と協力しながら取り組みたい人。【主体的に学習に取り組む態度】

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・外国語と国語の適切な運用能力
- ・地理歴史や数学の十分な基礎学力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、小論文にて国際文化の諸問題に関する論理的な思考力、判断力、表現力を見る。さらに、プレゼンテーション・質疑応答ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

■建築デザイン学科

建築デザイン学部・建築デザイン学科は、住居学及び建築学の視点から住居から都市までの生活環境を総合的に理解し、住生活を包含する豊かな環境をデザインできる専門性の高い人材の養成を目的としている。

【求める学生像】

国内外の生活環境を、歴史、地域、芸術、技術、持続可能性、その他社会的課題などの側面から理解すること、またその知見に基づいて豊かな住居・建築・都市環境をデザインすることに興味、意欲がある人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高等学校までに学んだ諸科目（外国語（英語）、国語、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していること【知識・技能】
- ・住居・建築、地域、都市における様々な課題に対して、自分自身の意見や考えを積極的に表現することができること【思考力・判断力・表現力等】
- ・住居・建築、地域、都市に関わる専門的知識や技能を身につけること、及び居住者・利用者の立場から生活しやすい居住環境の提案や建築、都市のデザインを自立的、継続的、計画的、かつ他者と協力して取り組む意欲を有していること【主体的に学習に取り組む態度】

【総合型選抜の基本方針】

高等学校までに学んだ諸科目（国語、外国語（英語）、数学、理科等）を通して、住居学、建築学に関わる諸要素を科学的／論理的に理解し、考えるために必要な基礎学力を有していることを出願書類により評価する。また、住居・建築、地域、都市における様々な課題に対して、自分自身の意見や考えを積極的に表現することができることや住居・建築、地域、都市に関わる専門的知識や技能を身につけること、および居住者・利用者の立場から生活しやすい居住環境の提案や建築、都市のデザインを自立的、継続的、計画的、かつ他者と協力して取り組む意欲を有していることを「空間表現」試験による表現力（描写力、文章力）と口述試験による言語化によって総合的に評価する。また「主体的に学習に取り組む態度」についても口述試験で確認・評価する。

■食科学科

食科学科は、「生活者」の視点を重視して「食」を科学的に学ぶ学科である。「食」に関する専門的知識の学びを通して科学的・論理的な思考力、洞察力、創造力を養い、これらを活かして食関連の様々な領域で活躍する専門家を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・生活や社会における様々な「食」に関する問題に関心を持ち、「食」を科学的に深く学びたいという意欲のある人
- ・「食」に対して知的好奇心と探究心を持ち、主体的に学修や研究に取り組む意欲のある人
- ・身に付けた「食」に関する知識・技術を基に、食品の開発や研究、起業、教育（家庭科教諭）を通じて、地域社会・国際社会に貢献したいと考えている人
- ・科学的な知識・技術や考察力を身につけ、社会で活躍したいと考えている人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高校で履修した諸科目、特に化学、生物、数学の基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力
- ・自分の考えをまとめ他者に正しくわかりやすく伝える表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通じて主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、口述試験により小論文の課題に関連する基礎的知識の修得を判定し、コミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通じて総合的に判定する。

■栄養学科

栄養学科は、管理栄養士免許を取得するために基礎から応用にいたる領域を複合的に学ぶ学科である。人々の健康増進や疾病の予防・治癒のために、専門的知識および技能を生かして社会に貢献できる人物を育成することを目指している。

【求める学生像】

- ・管理栄養士資格を取得するのに必要な知識と応用力を身につけたい人
- ・人の身体と栄養に関して深く学びたいという意欲のある人
- ・主体的に栄養に関する課題を発見し、正しい知識を用いて解決したい人
- ・管理栄養士として様々な領域で社会貢献したい人
- ・管理栄養士として国際的視野を持ち、異分野と連携して、社会を良くしたい人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

- ・高校で履修した諸科目、特に化学、生物、数学の基礎学力
- ・英語の読解力
- ・論理的に物事を考える基礎的な思考力
- ・自分の考えをまとめ、他者に正しくわかりやすく伝える表現力
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

【総合型選抜の基本方針】

総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、口述試験により小論文の課題に関連する基礎的知識の修得を判定し、コミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通じて総合的に判定する。

1. 募集学部・学科及び募集人員

学部	学科	募集人員
家政学部	児童学科	20
	被服学科	25
	家政経済学科	5
文学部	日本語日本文学科	25
	英文学科	10
	歴史文化学科	10
人間社会学部	現代社会学科	4
	社会福祉学科	10
	教育学科	4
	心理学科	5
理学部	数物情報科学科	12
	化学生命科学科	12
国際文化学部	国際文化学科	25
建築デザイン学部	建築デザイン学科	6
食科学部	食科学科	2
	栄養学科	3

※選考の結果、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2. 出願資格

次の A・B 2つの条件を満たす女子

A. 次のいずれかを満たす者

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者及び2026年3月31日までに合格見込みの者
 - (5) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

B. 各学科の指定する外国語検定試験のいずれかの基準を満たす者（指定のない学科もある）

(注意)

出願資格A.3-(1) 外国の学校卒業・卒業見込みの者又は出願資格A.3-(5) に該当する者は、出願資格等について事前に確認が必要です。

・出願資格A.3-(1) 外国の学校卒業・卒業見込みの者は8月8日（金）（必着）までに、以下の書類を入試課へ郵送してください。なお、この期日以降の問い合わせは受け付けられません。

- ①氏名・連絡先（住所、日中連絡のつく電話番号、メールアドレス）・入試種別（「総合型選抜」）・志望学科及び出願資格審査希望の旨を明記した書類（書式自由）
- ②高等学校の卒業（見込）証明書
- ③高等学校の成績証明書
- ④小学校入学以降の学歴を記入した書類（書式自由）

郵送先：〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 日本女子大学 入試課

【成績証明書・卒業（見込）証明書についての注意事項】

- ・成績証明書には、在学全期間の成績が記載されていること。
- ・成績証明書及び卒業（見込）証明書は、日本語又は英語で発行されたものに限り、これ以外の言語で発行されたものには、必ず別紙で日本語又は英語の訳文を添付してください。訳文は日本語学校、翻訳会社等が作成したものとし、受験生本人による訳文は原則として認めません。
- ・卒業（見込）証明書は卒業証書ではありません。
- ・出願資格の事前資産の際は②卒業（見込）証明書、③成績証明書は、コピーでの提出を可としますが、出願時には、出身校が発行した原本を提出する必要があります。
- ・出願資格A.3-(5) に該当する者は出願資格審査が必要になりますので、8月8日（金）までに入試課（n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp）へ連絡してください。

3. 各学科の指定する出願条件

学部	学科	必要な外国語検定試験資格
家政学部	児童学科	－
	被服学科	－
	家政経済学科	※ 1
文学部	日本語日本文学科	－
	英文学科	※ 1
	歴史文化学科	－
人間社会学部	現代社会学科	※ 1・※ 2 いずれか
	社会福祉学科	－
	教育学科	※ 1～※ 3 いずれか
	心理学科	※ 1
理学部	数物情報科学科	－
	化学生命科学科	－
国際文化学部	国際文化学科	※ 1～※ 3 いずれか
建築デザイン学部	建築デザイン学科	※ 1
食科学部	食科学科	※ 1
	栄養学科	※ 1

※ 1 以下のうちのいずれか

対象となる英語外部試験の名称	スコア	出願資格を証明する書類
実用英語技能検定試験（英検） （CSE2.0） *注 1	2 級・準 1 級・ 1 級を受験し、 CSEスコア1950 以上	「合格証明書(英文も可)」又は「合格証書」又は 「CSEスコア証明書」又は「個人成績表」又は「受 験者マイページ」で確認できる個人成績表をプリ ントアウトし、出身学校が原本証明したもの
TEAP（4 技能） *注 2	225以上	「成績表(OFFICIAL SCORE REPORT)」
TEAP CBT *注 2	420以上	
GTEC *注 3	930以上	「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」
GTEC CBT		
ケンブリッジ英語検定 *注 4	140以上	「認定証」又は「認定(結果)ステートメント」
IELTS™（アカデミック・モ ジュールに限る） *注 5	4.0以上	「成績証明書（Test Report Form）」
TOEFL iBT® *注 6	42以上	「Test Taker Score Report」又は「Official Score Reports（Institutional Score Report）」

*注 1 各級の合格・不合格ではなく、CSE2.0のスコアが基準となります。従来型・S-CBT・S-Interviewのいずれも対象とします。ただし英検IBAは対象としません。また、従来型の試験では、二次試験の受験が必須となります。

*注 2 同一試験日のスコアのみ有効とします（複数日のスコアの合算は不可とします）。

*注 3 アセスメント版は対象としません。

*注 4 リンガスキルは対象としません。スコアを問う場合はCambridge English スケールのスコアが基準となります。

*注 5 コンピューター版のスコアも有効としますが、IELTS Online・IELTS Indicatorは対象としません。
追加成績証明書の発行手続を行う場合は、出願期間内に大学に届くように申請してください。One Skill Retakeを利用したスコアは不可とします。また、コンピューター版に限り、受験者用サイトからダウンロードしたTest Report Formも可とします。PDF版をA4サイズで印刷し、提出してください。

*注 6 Test Date Scoreに限る。My Best™ Scoreの活用は不可。Home Editionは対象としません。
「Test Taker Score Report」を提出する場合、PDF版は原本証明されているもののみ正式書類として受け付けます。Official Score Reportsを実施機関から直送する場合のDIコードはC549です。

※2 以下のうちのいずれか

対象となる外部試験の名称	スコア	出願資格を証明する書類
実用フランス語技能検定試験	3級以上	「合格証明書」
DELF	A1以上	「ディプロム」又は「仮合格証書」
TCF	100点以上	「成績証明書」
ドイツ語技能検定試験	3級以上	「合格証明書」
ゲーテ	A2以上	「合格証明書」
中国語検定	3級以上	「合格証明書」
HSK（漢語水平考試）	4級（195点）以上	「成績報告」又は「成績記載内容証明書」
TOPIK II	4級以上	「成績証明書」
ハングル能力検定試験	3級以上	「成績証明書」

【証明書についての注意事項】

※出願に際しては、2026年度の出願締切日から遡って2年以内に受験している証明書を提出してください（2023年9月12日以降に受験しているものが対象）。ただし、英検については、一次試験の受験日が2026年度の出願締切日から遡って2年より前であったとしても、二次試験が2年以内に受験されていれば可とします。

※証明書は原本又は原本からの正しい複製（コピー）であることが出身学校又は公証機関によって証明されたもの（出身学校・公証機関に「原本と相違ないことを証明します」等の文言とともに学校長印または機関印の押印を受けたコピー）を提出してください。なお、出身学校・公証機関への依頼が困難な場合、本学にて原本証明を行います。希望する場合は9月1日(月)までに入試課（n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp）に問い合わせた上で来課日時の調整を行ってください。なお、来課可能な期間は9月5日(金)までです。また、原本証明される証明書以外の書類については、p.20に記載のとおり簡易書留速達で郵送してください。

※出願資格を証明する書類が指定のものでない場合、出願書類として受け付けできません。提出前に、本学ホームページ「募集要項」ページに掲載されている「◆各入試共通」の「日本女子大学 2026年度入学試験 英語外部試験証明書類について」を必ず確認してください。

<https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/exam/application.html>

※各機関から証明書を本学宛てに直送する場合には、出願期間内に本学に到着するよう早めに申請し、直送依頼をしたことがわかるもの（志願者が特定できる情報の入ったオーダーの履歴や完了画面のスクリーンショット、オーダー完了のメールなど）をプリントアウトして出願書類に同封してください。

※3 以下のうちのいずれか

- ・外国において学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了した者(2026年3月までに修了見込みの者を含む)。ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含めない。
- ・学校教育における12年以上の課程のうち、通算して3学年以上の課程を日本国外において修了し、かつ、その海外体験を通して、文化研究や文化創造に強い意欲を持つ者。
- *当該国の教育制度が10年もしくは12年の課程を満たさない者については、8月8日（金）までに、入試課（n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp）まで問い合わせてください。
- *この条件における出願書類はp.14・15「5. 出願方法」（1）-⑥をご参照ください。

【受験の際及び入学後に特別な配慮を必要とする場合】

障害等があり、受験の際又は入学後に特別な配慮を必要とする場合は、「2026年度 日本女子大学 特別配慮申請書」「個人情報の取り扱いに関する同意書」「医療機関発行の診断書」（必要な配慮について理由・期間が具体的に明記されたもの。コピー可。）の3点を、8月8日（金）までに入試課に郵送してください。

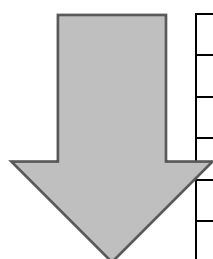
詳細は <https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/handicapped.html> をご確認ください。

不慮の事故により、申請期間後に特別な配慮が必要となった場合もすみやかに入試課まで連絡してください。ただし期限後の申し出については、特別な配慮ができない場合があります。

4. スケジュール

出願期間	2025年9月8日（月）～ 9月12日（金）
Web出願登録期間	2025年9月8日（月）～ 9月12日（金）23:59まで
出願書類提出期間	2025年9月8日（月）～ 9月12日（金）【消印有効】
第一次選考可否発表日	2025年10月2日（木）15:00～
受験票印刷可能期間	2025年10月15日（水）15:00～
試験日	2025年10月26日（日）
合格発表	2025年11月1日（土）15:00～
入学手続期間	2025年11月1日（土）～ 11月14日（金）

5. 出願方法



(1)	出願に必要な書類を準備する
(2)	Web出願に必要な環境を準備する
(3)	受験生ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」へ会員登録する
(4)	Web出願サイトで必要事項を登録する
(5)	出願書類を郵送する
(6)	検定料を納入する

(1) 出願に必要な書類を準備する

①	出願資格を証明する書類（出身学校長が作成した調査書等）	高等学校において作成し封緘された、2025年9月1日時点で最新の調査書を提出してください(二学期制の高等学校に在籍しており、3年次前期の成績が記載された調査書を提出できない場合は、2年次後期までの成績が記載された調査書を提出してください)。 なお、高等学校在学中に留学している場合は、留学期間中の学業成績証明書も添付してください。高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)合格者はその合格成績証明書もしくは合格見込成績証明書を提出してください。 外国の学校卒業（見込）の場合は、出願資格の事前確認書類で兼ねることができますが、事前確認書類として各書類のコピーを提出している場合は、<u>必ず原本</u>を出願期間内に提出してください。
②	志願票写真台帳・写真票 【様式1】*	所定の欄に氏名、志望学科を記入し、志願票写真台帳、写真票それぞれに写真1枚ずつを貼付してください（計2枚、同一の写真を貼付する）。 なお、国際文化学科の志願者のみ、写真票に記載の言語の内、プレゼンテーションにて使用する言語に○印をつけてください。 【写真に関する注意】 ・高等学校の校章・制服着用不可（学生証の写真として使用します） ・最近3ヶ月以内撮影の証明用写真 ・上半身正面（肩から上のショットで撮影したもの）、無帽、無背景 ・写真サイズ 縦4cm×横3cm ・枠なし、カラー、光沢仕上 ・スマートフォンやデジタルカメラで個人撮影したもの、特殊加工、修正したものは不可 ・写真裏面に志望学科、氏名を明記すること
③	自己アピール 【様式2-1】*	今までに学校の内外で、主体性・多様性・協働性を意識して取り組んだことを取り上げ、その内容とそれをととして学んだことについて具体的に記入してください。（1,000字前後）

④	志望理由書 【様式2-2】*	あなたがどのような理由により日本女子大学の本学科を志望するのか具体的に記入してください。（1,000字前後）
⑤	学科別課題 【各学科が指定する様式3】*	【児童学科・家政経済学科・日本語日本文学科・歴史文化学科のみ。国際文化学科は要事前準備】 各学科が指定する課題・字数で作成してください（「⑤学科別課題について」参照）。すべての用紙の右上の欄に（ページ数／総ページ数）を記入してください。 用紙が2枚以上になる場合、左上（縦書きの場合は右上）をホッチキスで留めてください。
⑥	外国語検定試験の証明書	【家政経済学科、英文学科、現代社会学科・教育学科、心理学科、国際文化学科、建築デザイン学科、食科学科、栄養学科のみ】 ・提出前に、p.12・13「3.各学科の指定する出願条件」の注釈事項と、本学ホームページ「2026年度募集要項」ページの「日本女子大学 2026年度入学試験英語外部試験証明書類について」を必ず確認してください。 https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/exam/application.html ・証明書は、「原本」または「原本証明を受けたコピー」の提出が必要です。コピーを提出する場合は、出身学校又は公証機関に「原本と相違ないことを証明します」等の文言とともに学校長印又は機関印の押印をうけたものを提出してください。 ・条件に合致する複数の証明書を有している場合は、1つを選んで提出してください。 ・p.13 出願条件※3に該当する場合は、学校教育における課程（在籍期間）の成績証明書（その提出が困難である場合は理由書を添えて在籍期間を証明する書類）を提出すること。なお、出願資格審査（p.11）の書類として卒業（見込）証明書の原本及び成績証明書の原本を提出し、出願資格を認められている場合は、再度提出の必要はありません。

*【様式1】～【様式3】は本学ホームページ (<https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/exam/index2.html>) からダウンロードしてください。

<【様式1】～【様式3】作成上の注意>

- ・手書きの場合 … A4 用紙の片面に印刷し、ボールペン（黒色／フリクションペン不可）で記入してください。
- ・パソコン等で作成する場合 … 入力後、A4 用紙片面にプリントアウトしてください。

⑤学科別課題について

（児童学科・家政経済学科・日本語日本文学科・歴史文化学科のみ。国際文化学科は要事前準備）

学部	学科	課題
家政	児童	児童学科における学びは、「発達」「創造・文化」「社会・臨床」の3つの領域で構成されています。これら児童学の3領域から一つの領域を選び、それに関する図書を1冊読んだ上で、以下の内容について【様式3-横】を使用して作成してください。（1）～（3）ごとに様式を分けて、続けて書いても構いません。全てのページに氏名とページ番号を記入し、ホッチキスで留めて提出してください。 （1）その図書を選んだ理由（400字程度） （2）その図書の内容の要約（800字程度） （3）図書の内容に対するあなたの考え（800字程度） なお、児童学の3領域については、児童学科のホームページに掲載されている専任教員の教育・研究活動 https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/human_sciences_and_design/teacher/index.html あるいはシラバス検索による各教員の講義内容 https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/syllabus.html などを参考にしてください。

学部	学科	課題
	家政経済	以下の資料を作成し、提出してください。1. は必須、2. は任意での提出です。 1. 自己推薦書（自由表現） 試験当日に行うプレゼンテーションのための資料として、自己推薦書（自由表現）を作成してください。【様式3-経-1】2枚以内で、プレゼンテーションの流れが分かるように、次の三つの論点（A～C）の内容を自由に表現してください。なお、三つの論点（A～C）の順番は、自由に入れ替えて構いません。 A) 本学科を志望する理由 B) 出願資格Aを満たす教育課程在学中に挙げた、以下①～③のいずれかの成果やその活動に関する自己アピール ①SDGs、ジェンダー、まちづくり、地域活性、災害復興、貧困、教育、環境問題等をテーマとする学内外での学習活動や社会活動（ボランティア、起業など）において、個人もしくは団体が挙げた成果 ②文化・芸術（音楽、美術、演劇、芸能、文学、放送、ディベートなど）、情報（プログラミング、ウェブサイト・SNS運営など）、スポーツ等の分野において、個人もしくは団体が挙げた成果 ③一つもしくは複数の科目の学修で挙げた成果 C) 入学後に本学科で取り組んでみたいこと（学業のほかに、社会活動なども可） 2. 自己推薦書の付属資料 これまでの活動内容を説明する資料や、自己推薦書の記載内容を証明する書類（各種試験合格証明書、賞状などを含む）を、【様式3-経-2】5枚以内で貼付してください（各書類や資料は、縮小コピーでの提出可）。もし、工作物や立方体、実技などにより書面での証明や説明が困難な場合は、その様子を収録した動画資料（3分以内）を作成し、Windows Media Playerで再生可能な動画ファイル（*.mpg,*.avi,*.wmd,*.wmv,*.mp4）を、CD-R、DVD-R、USBメモリのいずれかに入れて提出してください。
文	日本語 日本文	次の1～3の課題から一つを選び指示に従って解答してください。なお、生成系AIを用いてレポートの文章を生成することは禁止する。 課題1 『源氏物語』 蛭巻または『平家物語』 巻九「小宰相」（小宰相身投） ・『源氏物語』 蛭巻「光源氏の物語論」 （本文は、渋谷栄一氏校訂「源氏物語の世界」 http://www.sainet.or.jp/~eshibuya/text25.html#in31でも読むことができる。同ページの「第三章 光る源氏の物語 光る源氏の物語論」第1段～第3段を出題範囲とする。） ・覚一本『平家物語』 巻九「小宰相」（小宰相身投） （本文（覚一本系）は日本古典文学摘集 https://www.koten.net/heike/gen/144/ でも読むことができる。） 『源氏物語』 蛭巻の「光源氏の物語論」または『平家物語』 巻九「小宰相」（小宰相身投）のいずれかを選び、内容をよく理解した上で、自分なりの問題意識に基づいて、1,600字から2,000字以内（縦書き）で論じなさい。感想にならないように、以下の構成を意識して書くこと。 1) 問題提起：本課題で明らかにしたいことを提示する。 2) 考察：本文の内容や具体的な表現に基づいて分析する。 3) 結論：何が明らかになったかをまとめる。 ※参考資料、書籍などを引用するときには、引用があることがわかるように本文中で示し、出典を明記した参考文献リストを課題文章の末尾に記すこと。なお、このリストの文字数は、課題文章の字数には含まない。

学部	学科	課題
	日本語 日本文 (続き)	課題2 横光利一『春は馬車に乗って』 (本文は青空文庫 https://www.aozora.gr.jp/cards/000168/files/904.html で読むことができる。) 横光利一『春は馬車に乗って』の内容をよく理解した上で、1,600字から2,000字以内(縦書き)で論じなさい。感想にならないよう、以下の構成を意識して書くこと。 1) 問題提起 2) 分析・考察 3) 結論 ※参考資料や書籍などを引用するときは、引用であることがわかるように本文中で示し、出典を明記した参考資料・書籍のリストを課題文章の末尾に記すこと。なお、このリストの文字数は、課題文章の字数には含まない。 課題3 これまで自分が使ってきた日本語について、語彙、文法、音声、表記などから一つテーマを絞って、場面、相手、メディアなどによって、どのように使い分けをしてきたのか。具体例をあげ、その特徴について、1,200字以内(横書き)で述べなさい。 注1) 例文、場面は必ず自分自身の経験にもとづくものを示すこと。 注2) 辞書を含む書籍、論文、Web上の情報を参考にした場合は、引用部分、参考部分がわかるように本文中に明記すること。参考にした書籍等の情報のリストは、本文の1,200字には含まず、別紙に掲載すること。 ・解答用紙に課題を書き写す必要はない。 ・1と2の解答は縦書きの様式【様式3-縦】を使い、3の解答は横書きの様式【様式3-横】を使用すること。 ・各解答用紙にはすべて氏名とページ番号(○枚中の▲枚目)を記すこと。縦書き様式には選択した課題番号も忘れずに記入のこと。 ・縦書きは右上1ヵ所、横書きは左上1ヵ所をホッチキスで留めること。 ・使用言語は日本語とする。 ・なお、上記課題の内容に関する質問、課題図書へのアプローチに対する質問には一切お答えできません。
	歴史文化	次の課題1・課題2のどちらかを選び、指示に従って解答しなさい。 使う用紙・様式は自由ですが、全てA4サイズとし、1ページ目のヘッダー(上部)に「選んだ課題番号(1か2か)」「課題1の場合は選んだテーマ、課題2の場合は選んだ書籍名」および「氏名」を明記し、いずれも必ずホッチキスで左上を留めて提出すること。 課題1 以下の3つのテーマから一つを選び、本学歴史文化学科で学び、卒業論文で探求したい事柄と関連させながら、2,400字～2,800字以内で記しなさい(縦書き、横書きは自由)。末尾に解答の際に使用した参考図書・典拠を明示すること。写真や図表を付け加えても構いません。ただし、参考図書・典拠、写真や図表は上記の文字数に含めてはいけません。 1. 自身が生まれ育った地域、暮らしたことのある国(日本以外)、自身が関心を持っている国や地域等の歴史、文化、言語、宗教、思想や社会環境。 2. 博物館、美術館、図書館、資料館、文書館等で自身が出会った文物。 3. 成瀬仁蔵、広岡浅子、渋沢栄一、平塚らいてう、あるいはご自身の先祖や親族等で、本学ゆかりの人物。

学部	学科	課題
	歴史文化 (続き)	課題2 以下の課題図書から一冊を選び、筆者の考えを要約した上で、自らの意見を記しなさい。全体の分量は2,400字～2,800字以内とします。課題図書の文章をそのまま使う（＝引用する）際は、必ず「 」でくくり、その後に（ ）をつけてページ数を明記すること。 水上遼『語り合うスンナ派とシーア派 一十二イマーム崇敬から中世イスラーム史を再考する（ブックレット〈アジアを学ぼう〉別巻16）』（風響社、2019年） 北村暁夫『イタリア史10講（岩波新書1766）』（岩波書店、2019年） 差波亜紀子『平塚らいてう：信じる道を歩み続けた婦人運動家（日本史リブレット人 093）』（山川出版社、2019年） 加藤玄『ジャンヌ・ダルクと百年戦争：時空をこえて語り継がれる乙女（世界史リブレット人 032）』（山川出版社、2022年）
国際文化	国際文化	事前課題の提出は求めませんが、当日のプレゼンテーションのために下記の準備をおこなってください。 海外、国内を問わず、志願者の高校までの「越境」につながる文化体験がどのようなものであったか、さらにそれを活かして本学科で何を学びたいのかについて、3分間のプレゼンテーションをしていただきます。外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）でプレゼンテーションしていただいても構いません。（【様式1】のプレゼンテーション使用言語に○印をつけてください）

※「5. 出願方法」(1)に記載の課題と出願書類以外のいかなる書類や資料の添付があっても、評価の対象といたしません。外国語検定試験の証明書については、出願条件及び事前課題の付属資料として指定している学科以外は、評価の対象といたしません。また、一度提出した課題・書類の返却は行いません。

(2) Web出願に必要な環境を準備する

①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレットの準備	学校や図書館など、自宅外のパソコンからも出願できます。 ◆推奨ブラウザとバージョンについて 〔Windows〕Microsoft Edge 最新バージョン／Chrome 最新バージョン／Firefox 最新バージョン 〔MacOS〕Safari 9.0 以上
②メールアドレスの設定確認	大学から出願情報の登録完了及び検定料の支払完了のメールを配信します。 @ucaro.jp からのメールを確実に受信できる環境を整えてください。
③検定料納入方法の確認	クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングでの納入が可能です。どの納入方法も対象金融機関や金額等に制限や注意事項があります。予め確認の上、納入方法を決定してください。

(3) 受験生ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」へ会員登録をする

出願には UCARO への会員登録（無料）が必須です。出願～合否照会、入学手続まですべて UCARO 上で行います。

UCARO への会員登録は、Web 出願登録期間よりも前に行うことができます。出願開始前に予め会員登録を済ませておくことをお勧めします。

UCARO ホームページ： <https://www.ucaro.net/>

①「新規会員登録」からメールアドレスを登録します。	②本登録用のURLが記載されたメールが配信されます。	③メールに記載されたURLにアクセスし、必要事項を登録します。	④「学校をさがす・出願する」から日本女子大学を選択し、会員登録は完了です。
			

この画面はイメージであり、実際に表示される画面と異なる場合があります。

会員登録時にアカウント情報（氏名・住所等）を登録しておくと、本学の Web 出願登録時に個人情報入力を省くことができます。

（４）Web出願サイトで必要事項を登録する

出願期間内に UCARO にログインをし、「学校をさがす・出願する」から本学の Web 出願サイトにアクセスしてください。

！注意！ 出願登録を開始する前に必ずWeb出願サイトトップページの「Web出願の流れ」をよく読んでください。

①志望情報入力	画面の指示に従って、出願学部・学科を選択してください。
②個人情報入力	画面の指示に従って、個人情報を入力してください。 本学で氏名に使用できる漢字はJIS 第1・2 水準に限られます。住民票氏名の漢字をJIS第1・2 水準に置き換えて入力してください。 (例) 崎→崎、高→高、碕→碕、吉→吉、濱→浜、桑→桑、徳→徳、祐→祐、角→角、土→土、緒→緒、柳→柳、頼→頼、橋→橋、集占→占
③出願内容確認	①②で入力した内容を確認してください。内容に誤りがある場合は、必ずこのタイミングで修正をしてください。 検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので注意してください。

④検定料納入方法の 選択（決済情報入 力）	画面の指示に従って、検定料の納入方法を選択してください。コンビニエンスストア、金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかが選択できます。 （検定料の納入方法詳細については、「（６）検定料を納入する」を参照してください。）
-----------------------------	--



⑤出願登録完了→宛 名ラベルの印刷	出願情報の登録結果を確認し、この画面から宛名ラベルを印刷してください（白黒可）。印刷できない場合は、必要書類を郵送する封筒に宛名ラベルの内容を転記してください。
----------------------	--

必要事項の登録はこれで終了です。引き続き、画面に掲載されている「郵送書類」の項目を確認し、必要書類の郵送と検定料の支払いも行ってください。**出願情報を登録しただけでは、出願手続きが完了したものとして扱いません。**

（５）出願書類を郵送する

①宛名ラベルの用意	宛名ラベルをプリントアウトしていない場合は、UCAROにログイン後、「学校一覧」より日本女子大学を選択し、本学Web出願サイトにログインしてください。トップページの「出願一覧」から出願内容の「確認・変更・決済」ページに進み、宛名ラベルを印刷してください。 印刷方法が分からない場合はUCAROのFAQをご確認ください。 https://user-support.ucaro.net/hc/ja
-----------	---



②必要書類の確認	「（１）出願に必要な書類を準備する」で用意した必要書類に不備がないかどうかを改めて確認してください。書類に不備がある場合は出願を受け付けることができません。ご注意ください。
----------	--



③郵送の準備	市販の角形２号（角２）封筒に印刷した宛名ラベルを貼り、書類を封入してください。
--------	---



④郵送	出願期間内（消印有効）に <u>簡易書留速達</u> で郵送してください。出願期間外に郵送したものは受理できません。また、入試課へ直接持参することはできません。 宛先： 〒112-8681 東京都文京区目白台２－８－１ 日本女子大学 入試課
-----	---

（６）検定料を納入する

！注意！

- ・納入済みの検定料は「◆検定料返金について」記載の事由以外では返金できません。
- ・検定料納入後は志望情報・個人情報の登録内容の変更・追加ができません。納入前に登録内容を十分にご確認ください。登録内容の確認・変更についてはこの後の「６．Web出願登録内容の確認・変更」をご参照ください。

次の①～④のいずれかの方法で納入してください。納入の際は Web 出願サイトの「検定料の支払い方法について」を参照しながら操作をしてください。なお、検定料の他、1 回の出願ごとに支払い手数料 1,200 円が必要です。

①コンビニエンスストア現金支払い	コンビニエンスストア設置のATMからの入金はできません。現金でお支払いください。
②金融機関ATM【Pay-easy】 現金支払い又はキャッシュカード支払い	金融機関の定める手順に従ってお支払いください。
③ネットバンキング	出願登録完了画面の「ネットバンキングでの支払いに進む」をクリックし、画面の指示に従ってお支払いください。
④クレジットカード	支払いに使用するカードの名義人は受験生本人でなくても構いません。 出願登録完了画面の「クレジットカードで支払う」をクリックし、「決済サイトに進む」から、画面の指示に従ってお支払いください。

◆検定料返金について

いったん納入された検定料は返金できません。ただし、以下の「検定料の返金事由」に該当し、「返金の手続方法」に記載の申請が受理された場合は返金します（1 出願あたりの手数料 1,200 円は返金対象外です）。

検定料の返金事由：

- i) 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- ii) 検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
- iii) 誤って UCARO の別アカウントから、同一入試区分・同一学科に重複して出願した。

< 返金の手続方法 >

返金を希望する場合は、出願締切日から 3 日以内に入試課（n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp）へ①～⑤を記載したメールをお送りください。

- ①出願を取りやめる旨の説明
- ②出願者氏名
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤出願番号

確認後、返金に関する申請書類をメールにて送付しますので、申請書類を簡易書留でご返送ください。

処理の都合上、返金には一か月程度の日数を要します。返金をご指定の口座への振込をもって完了とし、別途連絡はいたしません。ご了承ください。

なお、返金申請書類不備、申請忘れ等、申請書類に記載の期日までに定められた手続を完了していない場合、請求には応じられませんので注意してください。

6. Web出願登録内容の確認・変更

本学の Web 出願サイトトップページの「出願一覧」から内容確認をすることができます。
出願内容欄にあるボタンは入金状態により以下のように変わります。

- ・検定料未入金の場合 … 「確認・変更・決済ボタン」 → 登録内容の変更可能。
- ・検定料納入済みの場合 … 「確認ボタン」 → 登録内容の変更不可。

検定料未入金の場合	志望情報・個人情報の登録内容の変更および追加が可能です。「確認・変更・決済ボタン」を押下し、登録内容を変更したい項目の「変更」ボタンから操作を行ってください。操作方法が分からない場合は、UCAROホームページのFAQもご確認ください。 https://user-support.ucaro.net/hc/ja
検定料納入済みの場合	登録内容の変更はできません。 変更が必要な場合は入試課（n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp）までご連絡ください。

7. 出願に関する注意点

！注意！

- ・複数学科への出願はできません。
- ・出願書類に不備等があった場合、入試課から電話をすることがあります。連絡のつきやすい電話番号をご登録ください。
- ・いったん受理した出願書類はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・出願書類に虚偽の記載があった場合、受験資格および入学資格を失います。

8. 第一次選考（書類審査）合否発表日

第一次選考合格発表日時	2025年10月2日（木）15:00～
-------------	---------------------

第一次選考（書類審査）の合格者はUCAROにて発表いたします。

9. 第二次選考受験票について

受験票印刷可能期間	2025年10月15日（水）15:00～
-----------	----------------------

受験票は郵送いたしません。UCAROから各自で印刷をお願いします。試験当日は必ず紙に印刷した受験票をお持ちください（スマートフォン等の画面提示では受験できません）。

（1）受験票の取得・印刷方法

UCARO ログイン後トップメニュー内の「受験一覧」より、受験票の印刷を希望する試験を選択してください。情報を開き、「受験票を印刷する」から画面の案内に従って受験票を印刷してください。

！注意！

- ・受験票は必ずA4用紙に印刷してください。カラー・白黒は問いません。
- ・不正行為の疑いを持たれぬよう、受験票には裏表ともに書き込みはしないでください。
- ・受験票が出力できない場合は、UCARO・インターネット（Web）出願ヘルプデスク（03-6634-6494）に連絡してください。

（2）受験票記載内容の確認

受験票印刷後は、受験票に記載された内容を確認してください。受験者氏名（フリガナ・漢字）・住所・生年月日・志望学科等がWeb出願サイトで登録した内容と異なっている場合には、入試課（n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp）まで連絡してください。

10. 試験日・試験場・時間割・試験科目

試験日	2025年10月26日（日）
試験場	日本女子大学 目白キャンパス
試験室	受験票を確認してください。

学科	1時限 (9:30～10:30) * ¹	2時限 (11:00～11:40)	3時限 (13:00～)
児童	小論文	—	口述試験
被服	小論文	—	口述試験
家政経済	適性検査（基礎学力）	—	プレゼンテーション及び質疑応答（資料等の持込み不可）
日本語日本文	古典読解 * ¹	—	口述試験
英文	小論文（日本語）	—	口述試験（日本語）
歴史文化	口述試験		
現代社会	小論文	—	口述試験
社会福祉	小論文	—	口述試験
教育	適性検査（基礎学力）	—	口述試験
心理	—	—	口述試験
数物情報科	適性検査（基礎学力）	小論文	口述試験
化学生命科	適性検査（基礎学力）	小論文	面接試験
国際文化	小論文	—	プレゼンテーション及び質疑応答 * ³ * ⁴ (資料等の持込み不可)
建築デザイン	空間表現 * ²		口述試験
食科	小論文	—	口述試験
栄養	小論文	—	口述試験

*¹ 日本語日本文学科の古典読解は 9:50～10:30(40 分間)で実施します。

*² 建築デザイン学科の「空間表現」では、出題された条件に沿って三次元的なモノの形や配置といった空間の構成をイメージし、それを絵として描写して頂きます。また、その状況や構成意図を文章で説明していただきます。当日の持ち物については p.24 をご確認ください。

*³ 家政経済学科・国際文化学科のプレゼンテーションでは、一切の資料・メモの持ち込みを禁止します。

*⁴ 国際文化学科のプレゼンテーションについては p.18 をご確認ください。

※口述試験は、原則として出願受付順に行います。早い順番を希望する場合は、早めに出願手続をしてください。

過去問題・例題については「**総合型選抜入学試験ガイド**」に掲載しています。以下のページから閲覧用パスワードを請求のうえ、ご確認ください。

<https://www.jwu.ac.jp/unv/request/unv.html>

<試験当日の注意>

- ① 試験当日は目白駅発着の都営バス「学 05 系統」は運休となります。目白駅からは徒歩または路線バス「白 61 系統」をご利用ください。
- ② 自動車やバイク、自転車での来学はお断りします。キャンパス内はもちろん、キャンパス付近での駐車・駐輪もできません。公共交通機関をご利用ください。
- ③ 構内へは 8 時 30 分から入構できます。試験開始 15 分前までには指定の試験室に入室を完了してください。試験開始時刻が他の学科と異なる日本語日本文学科・心理学科受験者は、来学後、他の学科の科目試験の妨げにならないよう静かに入室してください。
- ④ 当日は、受験票、筆記用具（HB・B の鉛筆又はシャープペンシルと消しゴム）、時計（時刻表示機能だけのもの）、弁当（昼食）を持参してください。
なお、建築デザイン学科のみ「空間表現」の試験のために以下のものをお持ちください。
鉛筆デッサン用具一式：鉛筆各種、消しゴム又はネリゴム、鉛筆削り(カッター可)
＊着彩用具、木炭、フィキサチーフ、測り棒は持ち込み不可
- ⑤ 温度調整のしやすい服装でお越しください。
- ⑥ 休憩場所および昼食場所として七十年館 2 階学生サロンをご利用いただけます。付き添いの方も控室としてご利用ください。
- ⑦ スマートフォン、携帯電話、ウェアラブル端末と、計算及び辞書機能付きの電子機器は時計として使用できません。試験前にアラームを解除し、電源は切って鞆の中にしまってください。試験中にそれらの機器を使用した場合、不正行為とみなします。また万が一、解答時間中に鞆の中の機器が音を発した場合、受験者本人に鳴動を止めるよう指示しますが、停止に時間を要する場合は静穏な試験環境確保を最優先させるため、その機器が入っている鞆などを試験監督者が教室外へ持ち出す場合があります。
- ⑧ 指定の試験科目全てを受験しないと欠席扱いになります。
- ⑨ 当日、事故等不測の事態により試験時間に遅刻しそうな場合は、入試課（03-5981-3786）へ申し出て指示を受けてください。なお、当日の交通機関遅延等による試験時間繰り下げなどの「入試当日緊急情報」は、本学ホームページ（<https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/>）でお知らせします。
- ⑩ 不正を行った者は受験及び入学資格を失います。
- ⑪ 入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として当日の受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めたときは、この限りではありません。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、検定料の返金はいりません。

11. 合格発表

合格発表日時	2025年11月1日（土） 15：00
--------	---------------------

合格発表は UCARO にて行います。合格通知及び入学手続要領等の郵送は行いません。
電話による可否結果のお問い合わせには一切応じません。

12. 入学手続

入学手続期間	2025年11月1日（土）～ 2025年11月14日（金）
--------	-------------------------------

！注意！

入学手続期間内に UCARO からの情報登録と入学手続金の納入が必要となります。期間を過ぎてからはいかなる理由があっても受け付けられません。

入学手続の詳細については、合格者に開示する「入学手続要領」で確認してください。入学手続要領は、UCARO の入学手続ページ（合格者のみ閲覧可）よりダウンロードできます。

入学手続時には、入学手続金（入学金及び前期学費等）を納入する必要があります。入学金及び前期学費等の詳細については、「14. 学費等」「入学手続時納入額」をご参照ください。

他大学を併願している場合は、UCARO で所定の手続を行うことにより、入学金を除く前期学費等の納入金を延納することができます。詳細については、入学手続要領で確認してください。

延納の手続をした場合の最終納入締切日は2026年2月9日（月）です。これを過ぎて前期学費等の納入がない場合は、入学資格を失いますので充分注意してください。

入学手続の際、いったん提出された書類及び納入された入学金は、いかなる理由があっても返還しません。ただし2026年3月31日（火）までに入学辞退の手続がなされた場合には、入学金を除く前期学費等を返金します（返金の時期は3月末から4月末を予定しております）。

！注意！ 入学手続金納入方法について事前にご確認いただき、ご準備をお願いいたします。

本学の入学手続金納入方法は以下のいずれかです。

- クレジットカード
- 金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキング
- コンビニエンスストア
（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート）

●クレジットカード

決済手続時点で納入金額（手数料含む）がカード利用限度額を超えている場合など、カードをご利用いただくことが出来ない場合があります。事前に利用限度額をご確認のうえ、必要に応じて利用限度額の枠を一時的に増額するなど、期限に余裕をもってお手続きください。

●金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキング

地方銀行など利用ができない金融機関もあるため、利用可能な金融機関について以下のリンクから予めご確認いただき、必要に応じて口座の開設等ご準備をお願いいたします。

（利用可能な金融機関：<https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html>）

※金融機関ATM【Pay-easy】、ネットバンキングでは、キャッシュカードの場合、100万円未満まで支払い可能です。これらの支払方法の初期設定では、振込上限金額が少額に設定されている場合があります。入学手続期間内にお手続いただけるよう、予め上限金額の設定をご確認ください。上限金額の変更方法については、各金融機関へお問い合わせください。

●コンビニエンスストア

手数料を含め30万円を超える決済はできません。その他の方法で納入してください。

毎年、手続締切日までに入学手続金の納入ができず、入学資格を失う方がいらっしゃいます。事前のご確認と余裕を持ったお手続きをお願いいたします。

13. 成績開示

総合型選抜では各学科で定めた客観式を含む複数の選考方法により試験を実施します。それらの試験結果と出願書類を総合的に検討して合否の判定を行うため、入試成績については開示いたしません。

14. 学費等

2026年度の学費等は未定のため、2025年4月現在の予定額を掲載しています。なお、学費等は在学中に改定されることがあります。

1年次の納入額〔家政学部・文学部・人間社会学部〕

(単位：円)

		家政学部			文学部	人間社会学部		備考
		児童学科	被服学科	家政経済学科		現代社会学科 社会福祉学科 教育学科	心理学科	
入学 手 続 時 納 入 額	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	入学年度のみ
	授業料	435,000	435,000	385,000	385,000	385,000	385,000	前期分
	実験実習料 (定額年次徴収)	300	5,000	0	0	0	700	前期分
	施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	前期分
	学生傷害・ 賠償責任保険料	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	入学年度のみ (4か年分)
	泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費 前期分
	泉会賛助金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	入学年度のみ
小 計		837,460	842,160	787,160	787,160	787,160	787,860	
後 期 納 入 額	授業料	435,000	435,000	385,000	385,000	385,000	385,000	後期分
	実験実習料 (定額年次徴収)	300	5,000	0	0	0	700	後期分
	施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	後期分
	泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費 後期分
小 計		602,800	607,500	552,500	552,500	552,500	553,200	
年額合計(入学金含む)		1,440,260	1,449,660	1,339,660	1,339,660	1,339,660	1,341,060	

1年次の納入額〔理学部・国際文化学部・建築デザイン学部・食科学部〕

(単位：円)

		理学部		国際文化学部	建築 デザイン学部	食科学部		備考
		数物情報 科学科	化学生命 科学科			食科学科	栄養学科	
入学 手 続 時 納 入 額	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	入学年度のみ
	授業料	535,000	535,000	410,000	515,000	540,000	540,000	前期分
	実験実習料 (定額年次徴収)	900	10,000	0	2,500	11,000	11,000	前期分
	施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	前期分
	学生傷害・ 賠償責任保険料	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,730	入学年度のみ (4か年分)
	泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費 前期分
	泉会賛助金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	入学年度のみ
小 計		938,060	947,160	812,160	919,660	953,160	953,230	
後 期 納 入 額	授業料	535,000	535,000	410,000	515,000	540,000	540,000	後期分
	実験実習料 (定額年次徴収)	900	10,000	0	2,500	11,000	11,000	後期分
	施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	後期分
	泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費 後期分
小 計		703,400	712,500	577,500	685,000	718,500	718,500	
年額合計(入学金含む)		1,641,460	1,659,660	1,389,660	1,604,660	1,671,660	1,671,730	

- ・入学金、学生傷害・賠償責任保険料、泉会賛助金以外は2年次以降も納入いただきます。
- ・1年次の授業料、実験実習料、施設設備費及び泉会会費は前期・後期に分納となります。
- ・実験実習料は表で示している定額徴収のほかに、一部の履修科目、教育実習費用等、資格に関わる実習等で別途費用がかかる場合があります。
- ・4年次に卒業研究費を徴収する学科があります。対象は被服学科＜主に実験を行う研究のみ＞(2万円)、数物情報科学科＜物理系・情報系のみ＞(2万円)、化学生命科学科(4万

円)、食科学部(4万円)です(2025年度現在予定額)。卒業研究費を徴収する場合には、前述の学費等に加算します。

- ・4年次後期分の学費納入時に、大学の同窓会組織である一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会の会費50,000円(内訳:正会員入会金5,000円、正会員会費10年分45,000円)を合わせて納入いただきます。
- ・修業年限を超えて在籍する場合は、当年度1年分の学生傷害・賠償責任保険料を納入いただきます。
- ・本学では、入学者に対して寄付金の募集を実施していますが、入学前の募集は行っておりません。入学後に、任意の寄付金をお願いする予定ですので、その節はご協力をお願いします。
- ・国際文化学部国際文化学科では、以下の1及び2のプログラムが必修であり、学費等とは別に費用が必要となります。なお、選択する研修先により費用は異なります。

1. スタディ・アブロード・プログラム〔1年次必修〕概算費用 43万円～95万円程度(*1)(2025年3月の為替レートによる)

2. 実践プログラム〔2～3年次必修、以下の海外a・海外b・国内のうち、いずれか1つを選択〕

海外a:90万円～450万円程度(*2)(*滞在費込み、航空機運賃は別 / 2025年1月の為替レートによる)

海外b:(協定大学留学/認定大学留学):留学先大学による。交換留学の場合は授業料免除。
お問合せは国際交流課まで。

国内:約1万円～10万円

注) *1・*2:為替レートの変動により、プログラムフィーは変更が生じる場合があります。

◇日本女子大学泉会

本学には、学生の教育環境整備支援を目的として、学生の父母等及び大学関係者を会員に組織された「日本女子大学泉会」があります。入学後は泉会賛助金30,000円(入学年度1回のみ)、泉会会費15,000円(年額)を納入していただきます。

15. 奨学金

総合型選抜出願者・合格者を対象とした奨学金制度は以下のとおりです。

■桜楓樹給付奨学金

(1) 概要・趣旨

桜楓樹給付奨学金は本学関係者からの寄付金から給付されるもので、地方からの進学者の経済的負担を軽減することを目的とし経済的支援を必要とする優秀な者に対し、入学金・学費・入寮に係る費用（入寮する方のみ）等として原則4年間の給付を入学前に約束するものです。

総合型選抜において通常の選抜に加え、別途書類審査・面接により本奨学金の採用候補者を選考します。

(2) 申請資格

総合型選抜の「2. 出願資格」（11 ページ）を満たし総合型選抜を受験する者のうち以下の基準をすべて満たす者

①本学を第一志望とし、入学を確約できる者

※選考の結果、本奨学金の採用候補者として決定した場合には本学への入学辞退は不可

②日本国籍を有する者、特別永住者又は出入国管理及び難民認定法の別表第二に規定される在留資格（永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者・子）を有する者

③1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）以外に設置された国内高等学校又は中等教育学校等を2026年3月に卒業見込みの者又は2025年3月以降に卒業した者

※通信制高等学校出身者は、学校所在地にかかわらず本奨学金申請時に1都3県以外に居住する者

※高等学校卒業程度認定試験合格者は、2026年3月までに合格見込みの者又は2025年3月以降に合格した者で本奨学金申請時に1都3県以外に居住する者

④入学後は自宅外通学となる者

※生計維持者が1都3県以外に居住している場合に限る。自宅外通学であっても生計維持者が1都3県に居住する場合は対象外

⑤生計維持者（父母又は父母に代わって生計を維持している人）の年収合計額が以下の家計基準を満たす者

・「給与所得」の場合 税込年収 700 万円未満

・「給与所得以外」の場合 所得証明書等における所得金額 350 万円未満

上記双方の収入・所得がある場合は、それぞれの金額を合計して税込 700 万円未満。ただし、合算する以前に給与所得以外の所得金額が 350 万円以上の場合は対象外。

(3) 給付金額等

給付金額：入学金・4年間の学費・入寮に係る費用（入寮する方のみ）

給付方法：本奨学金は上記徴収額を免除することにより給付とします。

<入学金・学費について>

入学金、授業料、実験実習料（定額徴収に限る）、施設設備費、学生傷害・賠償責任保険料、
泉会会費、泉会賛助金、桜楓会会費等学科別に定められた学年ごとの合計額を給付します。

※具体的な金額は「14. 学費等」（26・27 ページ）に記載の2025年4月現在の予定額をご確認ください。

※入学金、学生傷害・賠償責任保険料、泉会賛助金は1年次のみ、桜楓会会費は4年次のみ給付します。

※4年次に卒業研究費を徴収する学科に所属する場合は卒業研究費も給付対象とします。

※国際文化学科に所属する場合は、必修プログラム（スタディ・アブロード・プログラム、実践プログラム）に係る費用として、旅行代理店や機関に支払う金額も給付対象とします。ただし、参加するプログラムにより金額が大きく異なるため海外研修（海外a）の中で最も低予算のものまでを給付することとします（研修に係る費用については「14. 学費等」（26・27 ページ参照）。参加するプログラムはご自身で選択できますが、給付額を超える分についてはご自身でご負担いただきます。また、渡航先での滞在費や食費等についてもご自身でご負担いただきます。

※その他、特定の科目又は課程の履修によって生じる個人ごとに異なる納入金（個別徴収の実験実習料、教育実習費等）、教科書代や日常生活にかかる費用など上記に記載のない費用については各自でご負担いただきます。

<入寮に係る費用について（入寮を希望する方のみ）>

本学学寮に入寮を希望する場合は、入寮に係る費用（入寮費・寮費・食費・諸雑費、更新料等）も給付の対象とします。

ただし、入寮希望者は「15. 学寮」（34・35 ページ）に記載の入寮申請期間中に入寮手続きを行うことが必要です。

※具体的な金額は「15. 学寮」（34・35 ページ）に記載の費用（2025年度参考）をご確認ください。

※所定の入寮申請期間後に入寮を希望することも可能ですが、部屋に空きが無い場合は入寮できませんのでご注意ください。

※在学中に休学・留学をする場合、在寮を継続することはできません（国際文化学科「実践プログラム（海外b）」への参加者も同様です）。

(4) 支給期間

正規の修業年限内（原則４年間（休学期間を除く））

※原則４年間の支給ですが、入学後、毎年度末に受給資格（成績・素行等）に関して継続審査を行います。学業成績不振等により、奨学生として適当でないと判断された場合には給付を廃止する場合があります。

(5) 採用候補者数

若干名

(6) 申請方法・申請書類

「５．出願方法（１）」（14～18 ページ）に記載の総合型選抜の出願書類とともに以下の書類を同封し郵送してください。

①桜楓樹給付奨学金申請書【様式４】（A4 両面印刷）

※申請者の直筆（ボールペン（黒色／フリクション不可））で作成してください。

※署名欄は、申請者・保証人それぞれ本人が署名してください。印鑑もそれぞれ各自のものを使用し（同一のものは不可）、朱肉で鮮明に押してください。スタンプ印やゴム印は認められません。

※記入内容に訂正がある場合は、該当箇所に二重線を引き、その上に署名欄に押した申請者の印鑑を押し訂正してください（修正液や修正テープの使用は不可）。

②桜楓樹給付奨学金申請理由書【様式５】（A4 両面印刷）

※PC 入力、手書きどちらでも構いません。PC 入力の場合は、サイズ 10.5、黒、MS 明朝体を使用してください。手書きの場合は、ボールペン（黒色／フリクション不可）で作成してください。

③桜楓樹給付奨学金申請理由書【様式５】（「３．高等学校等（総合型選抜の出願資格を満たす教育課程）在学中に最も力を入れて取り組んできたことに関する自己アピール」の取り組みを客観的に証明できる資料

※様式自由、コピー可。ただしすべて A4 サイズに縮小・拡大して提出してください。

※資料の例は以下参照。あくまで一例であり以下の内容以外を受け付けないというものではありません。

※資料は可能な限り、申請者の活動であることが確認できるもの（資料に申請者の氏名や所属団体名の記載がある等）を提出してください。

(例)

内容	根拠資料
文化・芸術活動・スポーツ	大会の表彰状、大会出場記録、活動記録、 （文化・芸術活動については）作品（動画・写真など）等
学業	資格取得証明書類、成績優秀等の高等学校での特待生選抜結果、 模試成績表等
ボランティア活動	新聞等での活動紹介記事、活動記録等

④自治体発行の最新の所得証明書（令和7年度（令和6年分の年収・所得内訳記載のもの））

※原則として父母それぞれの所得証明書（または課税証明書）を提出してください。

ひとり親家庭の方は、申請者と生計を一にしている方の分のみ提出してください。

※3ヶ月以内発行の原本を提出してください。

※所得の種類・内訳と金額が記載されたものを提出してください。給与・年金・営業など総収入、総所得、配偶者控除・扶養者控除等が記載されていることが必要です。

※無収入の場合は非課税証明書等を提出してください。

⑤住民票

※3ヶ月以内発行の原本を提出してください。

※マイナンバー記載がないもので、申請者本人を含む世帯全員の情報が記載されたものを提出してください。

※日本国籍を有していない者は、国籍・在留資格・在留期間が記載されているものを提出してください。

（7）選考方法

以下のとおり選考を実施し、本奨学金の採用候補者を決定します。採用候補者として決定した方が本学に入学することで正式に本奨学金奨学生となります。

一次選考：申請書類による書類審査

二次選考：面接（一次選考通過者に対して実施）

<桜楓樹給付奨学金選考スケジュール>

内容	日程
申請期間	2025年9月8日（月）～9月12日（金）（総合型選抜出願期間）
総合型選抜（二次選考）合否発表	2025年11月1日（土）
桜楓樹給付奨学金一次選考結果通知 （通過者へは二次選考をご案内）	
桜楓樹給付奨学金二次選考（面接）	2025年11月8日（土）※オンライン（予定）
桜楓樹給付奨学金二次選考結果通知 （採用候補者決定）	2025年11月11日（火）15:00
入学手続期間	2025年11月1日（土）～11月14日（金） （総合型選抜手続期間）

※本奨学金の選考結果については、UCARO のメッセージ機能にて通知します。

※本奨学金の採用候補者として決定した場合は、本学への入学を辞退できません。

※総合型選抜の二次選考において「合格」した方は、本奨学金の選考を通過しなかった場合でも入学が可能です。なお、その場合は手続期間内に入学手続金の納入が必要です。入学手続金の納入についての詳細は「12.入学手続」（24・25 ページ）をご確認ください。本奨学金の選考を通過しなかった方は、入学手続を行った場合、所定の期日までに手続を行うことにより入学辞退が可能です。

(8) その他留意点

- ・本奨学金の選考は、総合型選抜の選考とは一切関係ありません。
総合型選抜の二次選考に合格しても本奨学金の一次選考を通過しない場合があります。
- ・提出された書類一式は返却しませんのであらかじめご承知おきください。また、書類に不備がある場合は選考対象とならない場合があります。提出前に不備・不足がないか十分確認をしてください（書類提出後の修正・追加提出等はありません）。
なお、提出書類について本学より問い合わせをさせていただく場合があります。
- ・本奨学金には返済義務はありません。
- ・本奨学金は国による高等教育の修学支援新制度（給付奨学金・授業料等減免）を含むその他の奨学金との併給可能とします。ただし、高等教育の修学支援新制度の採用者は授業料減免について停止扱いとなります。その他の奨学金も授業料減免については同様の扱いとなる場合があります。
- ・入学後は「学修の取り組み状況等のレポート」「学生生活についての報告書」「成績証明書」等を定期的に提出いただきます。また、寄付者を含む関係者に学修状況等を報告する義務があります。
- ・奨学生が退学又は重大な処分を受けた場合はその資格を取り消すとともに、当該年度に給付された奨学金について、直ちに全額を返還いただきます。

■日本女子大学被服学科賞（被服学科入学者対象奨学金）

（１）概要・趣旨

日本女子大学被服学科賞（被服学科入学者対象奨学金）は、被服学科の教員及び関係者の寄付金から給付されるもので、日本女子大学被服学科の勉学を奨励することを目的とし、総合型選抜において優秀な成績で入学した被服学科の学生に対し、入学金相当額（20 万円）を入学後に給付するものです。

（２）給付対象

総合型選抜で合格し、被服学科に入学する者

（３）給付金額

入学金相当額（20 万円）

被服学科入学後に給付します（５月頃予定）。入学手続時の納入金には充当できません。

（４）採用人数

１名

（５）選考方法

総合型選抜合格者で最も成績の優秀な者を採用候補者として決定します。該当者には総合型選抜合格発表当日に、採用候補者に決定した旨を UCARO のメッセージ機能にて通知します。

（６）その他・採用候補者として決定した方は、入学後に被服学科の指示に従い、本奨学金給付の手続を行ってください。

- ・被服学科への入学を辞退した場合、本奨学金は給付しません。
- ・「桜楓樹給付奨学金」の給付対象者となった方は、本奨学金の給付対象外となります。

15. 学寮

学寮（泉山寮・潜心寮）は2021年度に居室部分・ラウンジ等がリノベーションされました。キャンパス敷地内という通学の便利さと、閑静な住宅街が隣接する環境はそのままに、より安全で快適な住まいを提供しています。

最新の情報は大学ホームページにてご確認ください。

https://www.jwu.ac.jp/unv/seg_student/life_support/dormitory.html

〈申し込み資格〉

- ・入学手を完了し、本学に2026年度入学予定の者。
- ・法律上の性別が女性である者。
- ・自治寮（寮生全員で協議して生活ルール等を定める寮）である本学寮の精神を理解し、寮生活をよりよく過ごすための責任の一端を周囲と協調しながら担い、自分で自分の身の回りを整えて自律した生活を送れる者。

※入寮後1年毎に「寮生としてふさわしい自律した生活ができる者」に関わる確認があり、生活態度によっては在寮継続が認められない場合があります。

※留学／休学／退学／留年する者、除籍／寮費未納／規定違反に該当する者は、学寮委員会が定める期日までに退寮していただくことになります。なお、自己都合による年度途中での退寮はできません。

〈入寮申し込み方法〉

入寮申請期間： 2025年11月1日（土）～12月19日（金）（消印有効）

入寮可否通知： 1月下旬予定

申請期間内に、入学手続要領に記載の入寮手続を確認してください。入学手続要領・入寮願は、UCAROの入学手続ページ（合格者のみ閲覧可）よりダウンロードできます。

※前期学費等の延納の手続きを行った場合は、前期学費等を完納するまで入寮審査の対象にはなりません。

〈泉山寮、潜心寮の概要〉

- ・定員：泉山寮48名、潜心寮56名（交換留学生8名含む）
- ・対象：学部学生・大学院学生
- ・建物：鉄筋5階建（居室は2～4階）、全室個室（7～8畳程度）
- ・共用設備：食堂、テレビ、トイレ、洗面所、大浴場、シャワーブース、ピアノ室、洗濯室、各階に談話室（キッチン・電子レンジ・冷蔵庫あり）、自動販売機

*エレベーター、エスカレーターはありません。

- ・管理人常駐（住み込み）。
- ・授業のある月曜～金曜は朝食と夕食、土曜は朝食を、全員一律で提供します（不要の場合も食費の返金はできません）。長期休暇中・日曜・祝日等、授業日以外の提供はありません。また、食物アレルギー等への個別対応は行っておりません。
- ・大学構内と同様の無線LAN（jwu-wifi）の環境あり
- *ただし、安定した接続と通信速度を保証するものではありません。

費用（2025 年度参考）

単位：円（年額）

入寮費（入寮手続時のみ）	更新料※	寮費等（入寮費/更新料を除く）			
		寮費（光熱水費含む）	食費	諸雑費（学寮内行事用）	合計
120,000	60,000	1,056,000	168,300	1,800	1,226,100

※更新料は、入寮日の属する年度の翌年度を越えて在寮する場合、1 か年度ごとに納入いただきます。

いったん納入した入寮費及び更新料は、いかなる理由があっても返金いたしません。

《問い合わせ先》 学生支援課 電話 03-5981-3314

16. 入学後の単位の認定について

単位認定には下記の2種類があります。どちらも入学後に申請・書類等の提出が必要です。なお、手続き・申請書類・認定科目等の詳細は、2月下旬にご案内する「入学の手引き」及び入学後に掲示板にてお知らせいたします。

（1）技能審査等の合格による単位認定<参考：2025 年度>

本学への入学前又は入学後に、技能審査等(実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC、IELTS、ドイツ語技能検定試験、Goethe-Zertifikat(ゲーテ・インスティトゥートドイツ語検定試験)、実用フランス語技能検定試験、DELTA(フランス国民教育省・フランス語資格試験)、TCF(フランス国民教育省認定試験)、中国語検定試験、HSK(汉语水平考试)、ハングル能力検定試験、TOPIK(韓国語能力試験)など)に合格又は規定の点数を取得した場合、本学規定の授業科目を履修して修得した単位として認定されます。

（2）1 年次入学者の既修得単位の認定

本学へ入学する前に大学等(外国の大学は除く)において修得した単位は、本学の授業科目を履修して修得した単位として認定されることがあります。なお、認定される単位数の上限は 30 単位です。

《問い合わせ先》 学修支援課 電話 03-5981-3285(直通)

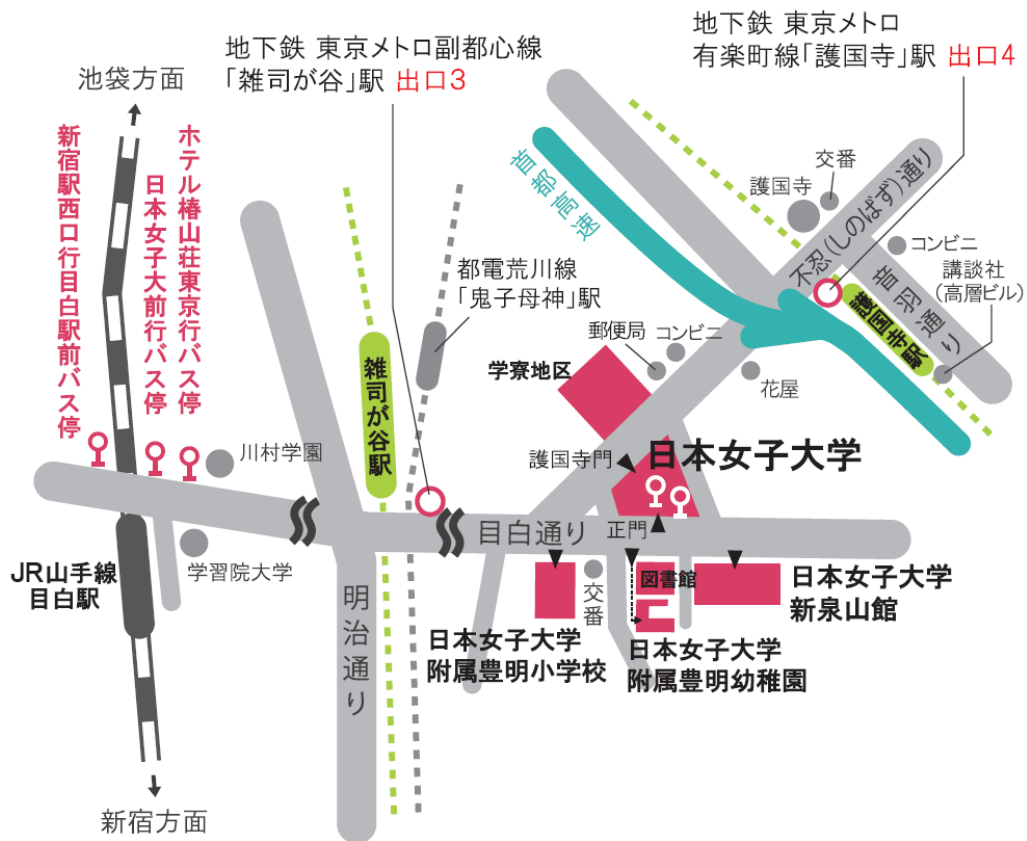
校舎配置図



交通案内図

日本女子大学 目白キャンパス (〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1)

- JR山手線目白駅下車 徒歩約15分
都営バス約5分[目白駅前乗車～日本女子大前下車]
・日本女子大前行(学05)*入試当日運休
・新宿駅西口行／ホテル椿山荘東京行(白61)
- 東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車(出口3) 徒歩約8分
- 東京メトロ有楽町線 護国寺駅下車(出口4) 徒歩約10分
- 東京さくらトラム(都電荒川線) 鬼子母神前停留場下車 徒歩約10分





日本女子大学

日本女子大学 入試課

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 TEL.03-5981-3786(直通)

ホームページ <https://www.jwu.ac.jp/unv/>